

平成 23 年度 事業報告及び収支決算報告について

近年の観光産業を取り巻く環境は、人口減少社会の到来による国内観光市場の縮小、経済不況等による観光需要の減退、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故に起因する外国人観光旅行者の減少など、厳しい状況が続いています。

伊勢志摩地域においては、パワースポットブームや平成 25 年に第 62 回式年遷宮が斎行されることにより、各種メディア等が積極的に伊勢神宮等を取り上げて情報発信していることで、当地域の注目度が飛躍的に上がっています。知名度の向上により、来訪者数は増加傾向となっていますが、旅行者の多くが内宮周辺を目的地とした日帰り客であるため、鳥羽・志摩地域等への周遊、宿泊が伸び悩むなどの課題もあります。

伊勢志摩観光コンベンション機構は、官民含めた伊勢志摩観光の核となるべく、「観光客数確保による持続可能な雇用創出」「再訪率増加と顧客満足度の向上」「地域内の滞在時間の拡大」「公益社団法人化を目指した体制整備」「満足度の高い地域づくりの実現」を平成 23 年度の事業方針として定め、“伊勢志摩観光振興プラン”に基づいた、地域が一体となった情報発信、誘客促進、観光基盤整備等の事業に取り組みました。

■新公益法人への移行

平成 23 年度第 1 回通常総会にて、公益社団法人移行に伴う定款及び関連規程等の変更の承認を頂き、平成 23 年 11 月 25 日三重県知事に対して公益社団法人への移行認定の申請を行いました。

法務局への法人登記を行い、平成 24 年 4 月 1 日から公益社団法人としてスタートしました。

■情報発信事業

伊勢志摩地域広域でのスケールメリットを活かした情報発信を図るため、以下の事業に取り組みました。

(1) TV番組による情報発信【3市1町(伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町)特別負担事業】

地元で活躍する人に焦点をあて、人と触れあいながらその町の魅力に迫る番組である三重テレビ「ええじゃないか」で 13 本の番組を制作し、3 市 1 町の魅力的な資源や旬の情報等を発信しました。関東から関西の 7 局で放映することで全国からの誘客促進を図りました。

放送期間：平成 23 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月 (毎週 1 回 55 分間)

放送局：毎週水曜日 午後 7 時 00 分 ～ 三重テレビ放送

毎週木曜日 午前 8 時 30 分 ～ 奈良テレビ

午後 7 時 00 分 ～ 千葉テレビ (10 月～ 金曜日午後 7 時 00 分)

毎週金曜日 午後 7 時 00 分 ～ テレビ埼玉、KBS 京都放送、サンテレビ

午後 8 時 00 分 ～ テレビ神奈川 (10 月～ 午後 7 時 00 分)

【上記 7 局で全国世帯数の 47.4%をカバーしています】

放送日（三重テレビ）	取材地	タイトル
4月6日	伊勢市	美し国から新装開店！
4月13日	鳥羽市	春が満開！答志島
4月27日	志摩市	開幕直前！ウォーキング大会 先取りチェック
5月11日	志摩市	初夏の志摩を“陸”と“海”から楽しむ！
7月27日	鳥羽市	“新”をキーワードに取材旅！
8月3日	伊勢市	愛される味 そのウラ側をチェック！
9月14日	鳥羽市	伊勢海老食べ尽くし取材旅
9月21日	伊勢市	伊勢に伝わる偉人伝
11月2日	南伊勢町	観光イベントまるまる取材旅
11月9日	志摩市	満喫！温泉と自然の取材旅
1月4日	志摩市	穴場の新リゾート施設を取材旅！
3月14日	鳥羽市	“恋する鳥羽”を取材旅
3月21日	伊勢市	ご当地グルメ御饌井を取材旅！

（2）FMラジオ番組による情報発信

県内及び愛知県と岐阜県の一部の在住者及び旅行者をターゲットに、レディオキューブFM三重の番組「伊勢志摩リゾートコンシェルジュ」で伊勢志摩の観光やイベント情報を紹介しました。ちょっと大人の感性で楽しく伝えるリゾート雑誌のイメージで、今度出かけてみたくなるような情報を取りあげました。

放送期間：平成23年4月1日～平成23年10月28日 毎週金曜日【合計31回】

放送時間：午後3時40分～（15分間）

（3）パンフレットによる情報発信

平成20年度に観光圏整備事業で作成した多国語ガイドブック「美し国 伊勢志摩」の日本語の在庫が僅少となったため、内容の時点修正を行い、3万部を増刷しました。また、一部記載漏れの情報があったため、差し込み資料を2.4万部作成しました。このガイドブックは、市町、観光協会等の案内所、県観光連盟、中部国際空港セントレアの案内所及び希望のあった当機構会員に一括発送するとともに、当機構においてもパンフレット送付希望者への発送や観光展での配布により、観光情報の発信に活用しました。

（4）T&Mセールスセンター支援事業

三重県内への観光客の来訪の機会や周遊性・滞在性を高め、消費拡大につなげるために、三重県、市町、三重県観光連盟、伊勢志摩観光コンベンション機構が協働して、平成23年8月3日に「新たな集客・交流のしくみ」である「三重の観光営業拠点運営協議会」を設立しました。

○事業内容

1. マーケティング&セールス事業

- ①消費者ニーズにあわせた地域資源の磨き上げ、流通支援・生産拡大に係る助言・指導

- ②着地型旅行商品の高付加価値化に係る助言・指導
- ③高付加価値化した着地型旅行商品のセールス
- ④高付加価値化した旅行商品の継続的な受注・運営管理センター機能
- ⑤名古屋「三重の旅ナビゲーション」での観光と物産の情報発信(トラベルカフェ「桜通りカフェ」)
- ⑥観光・物産にかかる情報発信

2. トライアルショップ事業（首都圏において期間限定で開催）

- ①観光・物産PR
- ②旅行カウンターでの観光案内、着地型旅行商品の紹介

○会 費

年会費 10,200 千円（伊勢市、鳥羽市、志摩市各 3,000 千円、南伊勢町 1,200 千円）は、当機構を
経由して、協議会に支出しました。

○会 員

三重県、参画市町、三重県観光連盟は会員であるが、当機構は賛助会員となっています。

（5）美し国観光情報提供事業【観光圏整備事業】

インターネットでの情報収集が重要な手段となっていることから、伊勢志摩の観光情報やイベント
情報をより見やすく、検索がしやすくなるよう、ホームページの更新を行いました。

また、高齢者や障害者も含めた誰もが情報を取得できる柔軟性に富んでいて、アクセスした者が同
様に情報を共有できる状態にあることを確認することに配慮したホームページであることを確認す
るため、特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアースセンターに委託し、アクセシビリティチェ
ックも行いました。

（6）地域イベントからの情報発信

各地域で開催されるイベント等に協力して伊勢志摩地域全体のPRを実施しました。

- ・第 59 回伊勢神宮奉納全国花火大会 平成 23 年 7 月 16 日（土）
- ・第 30 回お伊勢さん健康マラソン大会 平成 23 年 12 月 10 日（土）～11 日（日）

（7）各種広告宣伝・協賛

専門誌、新聞等へ広告協賛等を行い、伊勢志摩地域全体をPRしました。

No.	媒体名	出版社・発行所名	放送・掲載日	部数・回数
1	伊勢神宮参宮公式ガ イドブック（辛卯版）	(株)講談社	平成 23 年 5 月 25 日	30,000 部
2	旬刊旅行新聞	(株)旅行新聞新社	6 月 11 日	32,000 部
3	日本経済新聞（朝刊） 日経 MJ	(株)日本経済新聞社	7 月 20 日 7 月 22 日	205,886 部 246,764 部
4	産経新聞（夕刊）	(株)産経新聞社	7 月 19 日	535,400 部

5	西日本新聞（朝刊）	(株)西日本新聞社	7月9日	51,400部
6	関東・東北じゃらん	(株)リクルート	8月1日	130,000部
7	中日新聞（朝刊）	(株)中日新聞社	7月23日	335,057部
8	Cheek	(株)流行発信	9月23日	180,000部
9	旬刊旅行新聞	(株)旅行新聞新社	10月21日	32,000部
10	「おでかけ三重」	(株)流行発信	11月21日	160,000部
11	お伊勢さん健康マラソン大会プログラム	お伊勢さんマラソン実行委員会	12月10日	10,000部
12	中日新聞（朝刊） 「中部新時代」	(株)中日新聞社	平成24年2月28日	2,702,622部
13	近鉄時刻表	(株)アド近鉄	3月15日	各10,000枚 京都駅 近鉄奈良駅 鶴橋駅 大阪阿部野橋駅

■ 誘客促進事業

伊勢志摩地域全体への観光入込客の増大を図るため、以下の事業に取り組みました。

(1) みえ・美し国エクスプレス運行支援

三重県観光振興プランに基づき、中京圏から伊勢志摩への誘客促進を図るため、「みえ・美し国エクスプレス」シャトルバスの運行を支援しました。年間利用者数は対前年比79%の11,881名でしたが、名古屋駅から伊勢志摩の主要拠点を結ぶ利便性から、旅行商品としても活用されました。

(2) コンベンション振興事業

県内の企業、行政機関、大学、各種団体支部への恒常的な個別セールスを行うと共に、これに連動した旅行エージェント等へのセールスを実施した結果、年間で20件（参加人数約25,760人・参加延べ人数約57,560人）のコンベンション大会を誘致しました。また、コンベンション主催者に対して助成金の交付（16件）及び資料提供、歓迎看板の掲出等の開催支援をしました。

月	日	日数	大会名	会場	参加人数	延べ人数
5	15(日)	1	第10回東海マスターズ陸上競技選手権大会	三重県営陸上競技場	310	310
5	21(土)~22(日)	2	伊勢志摩ソーデーウォーク	志摩市内（阿児アリーナ）	2,300	3,260
5	22(日)~26(木)	5	第5回アジアパシフィックワイドギャップ半導体国際ワークショップ	鳥羽国際ホテル	300	1,500
6	4(土)~5(日)	2	第45回軍事史会年次大会	皇學館大学	130	260

6	9(木)~12(日)	4	平成 23 年度 ラージボール卓球大会	三重県営サンアリーナ	2,400	9,600
7	2(土)~3(日)	2	全国肢体不自由児・者父母の会 連合会東海北陸ブロック三重大会	ホテル志摩スペイン村	300	600
7	10(日)	1	中部ダンス競技三重大会	三重県営サンアリーナ	980	1,600
8	3(水)~5(金)	3	第 34 回全国特別支援 知的障害教育校長研究大会	伊勢志摩ロイヤルホテル	250	750
8	13(土)~14(日)	2	第 54 回全国小学生・中学生 空手道選手権大会	三重県営サンアリーナ	9,000	18,000
8	27(土)~28(日)	2	第 63 回 中部日本卓球選手権大会	三重県営サンアリーナ	1,450	2,900
9	7(水)~9(金)	3	溶接学会全国大会	皇學館大学	490	1,470
10	1(土)~2(日)	2	第 44 回手をつなぐ育成会 東海北陸大会	伊勢志摩ロイヤルホテル	800	1,600
10	22(土)~23(日)	2	第 55 回 全国サイクリング大会 in 三重	三重県営サンアリーナ	1,200	2,400
10	23(日)	1	第 23 回東海卓球選手権大会	三重県営サンアリーナ	800	800
11	17(木)~18(金)	2	平成 23 年度 全国地域婦人団体研究大会	賢島宝生苑	950	1,900
11	17(木)~19(土)	3	第 25 回法人会 全国青年の集い三重大会	三重県営サンアリーナ	2,200	6,600
11	30(水)~12/2(金)	3	日本外科感染症学会	志摩観光ホテル	570	1,710
12	4(日)	1	第 30 回伊勢志摩中日ウオーク	伊勢志摩スカイライン	1,400	1,400
24 年 2	3(金)~4(土)	2	日本神経放射線学会	志摩観光ホテル	310	620
24 年 3	10(土)	1	第 8 回パトリックスデー・パレ ード伊勢	伊勢市内	300	300
合 計					25,760	57,560

(3) 展示会等への出展

空港利用者のみならず、周辺地域のレジャースポットとして多くの人で賑わうセントレアにおいて、松阪市と共同で「松阪・伊勢志摩観光物産展」を開催しました。伊勢志摩地域全体の観光PRを行うとともに、来場者からの要望が多かった物販にも力を入れ、開催日数も増やし誘客促進を図りました。

日 時：平成 23 年 9 月 29 日（木）～10 月 5 日（水）

場 所：中部国際空港 4 階イベント広場

参加市町：松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町、度会町

出 展：市町物販ブース（7）、観光PRブース（1）、体験ブース（4）

来場者数：7 日間延来場者数（4 階）158,266 名

売 上：1,792,521 円

(4) 外客誘致推進事業

1. 三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会事業

参画する「三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会」の事業として、昨年度までは日本に在住するランドオペレーターを招聘し、伊勢志摩地域の観光施設等の視察を行っていたが、平成23年度においては東京においてインバウンド商談会等を実施しました。

事業名：三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会

平成23年度 外国人誘致商談会及びエージェントキャラバン

日時：商談会 平成23年12月14日（水） 11時～17時30分

エージェントキャラバン 平成23年12月15日（木）

商談会場：東京都港区元赤坂1丁目 豊川稲荷東京別院

商談会参加者数：エージェント…14社15名、施設（宿泊・物販等）…20社24名

主催者（事務局等）…8団体16名

訪問先エージェント数：15社

2. JNTO を活用したパンフレットの海外発送

三重県観光・交流室を通じ、JNTOの海外事務所のうち、ソウル、上海、香港及びロンドンの各事務所に各200部ずつ外国語版パンフレットを送付しました。

3. 地方拠点における受入環境整備事業

観光庁が実施した当事業は、訪日外国人旅行者を受け入れるための環境整備であり、戦略拠点と地方拠点が選考されるなか、伊勢志摩地域は地方拠点として、全国26か所のうちの1か所に選定されました。事業実施前には受入環境整備水準の評価をするため、宿泊施設・観光施設・飲食店・鉄道・行政に協力を仰ぎ、多言語化看板の有無や外国語対応可能スタッフの有無、外貨精算の可否等のアンケートを集計しました。また、観光庁との協議により、国立公園をテーマとした整備を実施することとなり、前述のアンケートを基に、伊勢志摩の「海の文化・杜の文化」を主題とした外国人旅行者向けの「まち歩きパンフレット」を作成しました。

4. V J 韓国事業

平成23年11月21日（月）と22日（火）の両日、観光庁のV J 韓国事業として、伊勢志摩地域において動画の撮影を行い、韓国ブロガーのブログや観光庁のV J キャンペーンホームページにおいて紹介をしていただきました。当機構は撮影の手配やアテンド等のFC的な協力を行いました。

(5) 誘客促進活動事業

○「駅」開催分

・近鉄大阪阿部野橋駅 4月16日（土）・17日（日）観光PR

・近鉄大阪上本町駅 10月14日（金）観光PR

○「PA・SA」開催分

・刈谷SA 4月30日（土）・5月1日（日）観光PR

・亀山PA 9月17日（土）観光PR

・土山SA 9月23日（金）・24日（土）観光PR

○「観光イベント等」開催分

- ・神戸まつり 5月15日(日) 観光PR出展
- ・伊勢志摩ソーデーウォーク 5月21日(土)・22日(日) 観光PR
- ・関空旅博 7月16日(土)・17日(日) 観光PR出展
- ・全国青年の集い 11月18日(金) 観光PR出展
- ・全国ご当地フェア 1月13日(金)・14日(土) 観光PR出展
- ・首都圏イオン観光PR 1月20日(金)～22日(日) 観光PRとWAONカード販売
- ・旅まつり名古屋 3月17日(土)・18日(日) 観光PR出展

(6) 美し国伊勢志摩観光活性化対策事業【観光圏整備事業】

関西及び中部・名古屋・三河地区を誘客の重点とし、業界大手のKNTとJTB、中部地区にて大きなネットワークを持つ名鉄観光サービス・日本旅行赤い風船にてメインパンフレットでの着地型商品造成と販売を行いました。また、商品造成・販売促進のための支援として、企画・販売担当者への説明会を名古屋・三河・関西地区にて102名の方を対象に実施しました。

店頭キャンペーンとしては、京滋地区のJTB提携店平和堂旅行センター20店舗にて2月中で展開し、そのうち、草津・彦根・水口・京田辺の主要店舗にてイベントも開催しました。その他に、首都圏旅行会社企画担当者及び販売担当者に、伊勢志摩の着地型商品を実地にて理解してもらうことを目的に、3社計20名の参加者にて視察研修も実施しました。

(7) 美し国誘客事業【観光圏整備事業】

遠隔地からの一次交通とセットにした旅行商品をJTB九州「伊勢志摩・飛騨」10月～3月号(20千部)に掲載し、活況を呈するであろう九州方面にターゲットをしばり情報発信に取り組みました。

また、宿泊施設、観光施設、体験プラン等の複合セットプランとして、名鉄観光サービス「鳥羽の離島 答志島を楽しもう」(10千部)に掲載し、非日常を体験する内容での展開を行った。その他に、伊勢志摩地域以外の観光地とセットにした旅行商品を、JTB九州旅物語「春爛漫の伊良湖岬とたっぷり伊勢神宮」新春号(80千部)で、伊勢神宮とゆかりのある伊良湖神社や、愛知県渥美地区から直接結ぶ交通としてフェリーを活用した商品造成を行った。その一方、以前から造成している着地型オプションプランのパンフレット等を地元限定旅行者へ配布し、受け皿の環境整備を継続し行いました。

■観光基盤整備事業

伊勢志摩広域での地域・官民の垣根を越えた観光客へのおもてなしを向上させ、域内の調整と連携及び観光客の実態を把握するため、以下の事業に取り組みました。

(1) 美し国伊勢志摩受入れ体制整備事業【観光圏整備事業】

伊勢志摩地域来訪者の顧客満足度向上と再訪したいと感じさせる受け皿整備を目的に全4回の“おもてなし向上研修会”を開催しました。

- ・第1回 開催日 平成23年12月6日(火) (参加者：16名)
テーマ バリアフリーの現状とやさしいまちづくりについて
講師 NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアースタッフセンター事務局長 野口あゆみ氏

- ・第2回 開催日 平成24年1月24日(火) (参加者:61名)
 テーマ 「おもてなし」から「お世話」へ
 講師 皇学館大学教授 岡田 登氏

- ・第3回 開催日 平成24年2月17日(金) (参加者:27名)
 テーマ 顧客満足度向上のための接客研修
 講師 株式会社インソース 河野貴久氏

- ・第4回 開催日 平成24年3月15日(木) (参加者:21名)
 テーマ 観光従事者向け「法的紛争事例」の紹介と解説
 講師 稲七総合法律事務所弁護士 服部一孝氏

(2) おもてなし向上事業

伊勢志摩地域へのクレーム等についての情報を共有し、改善のための対策並びに啓発事業等を行うため“伊勢志摩おもてなし向上委員会”の開催と“おもてなし向上研修会”を行いました。

また、美しい環境を提供することを通じておもてなしの気持ちを表していくため、「伊勢志摩おもてなし向上委員会清掃活動」を鳥羽市佐田浜にて鳥羽清港会と合同で実施しました。

(3) 各種団体との連携

JCCB、日本観光振興協会、伊勢志摩国立公園協会、三重県観光連盟、伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会等、各種団体に参画し、他地域及び各種団体と連携して、情報収集及び情報提供を図りました。

(4) 観光客の実態調査

伊勢市6ヶ所、志摩市3ヶ所、鳥羽市4カ所の各観光施設に御協力いただき、年4回アンケート調査を行いました。アンケート結果については、ご協力いただいた各観光施設に配付し、当機構のホームページに掲載しました。

■フィルムコミッション推進事業

映画、テレビ、CM等の撮影を誘致・サポートすることにより、地域内連携の醸成を図りつつ、地域の魅力の再発見に繋がりました。また、その映像作品等を通して伊勢志摩の魅力をPRすることによって多種多様な広報宣伝を図るため、「伊勢志摩フィルムコミッション」として、以下の事業に取り組みました。

(1) 撮影誘致支援活動事業

映画、テレビ、CM等の映像作品を誘致し、ワンストップサービスによる支援を行い、それらの映像作品を通じた当地域の知名度アップや魅力の創出、更には経済効果等、様々な波及効果につなげるとともに、地域が一体となったサポート体制を図ることによる地域コミュニティの強化を図りました。

制作会社等からの問い合わせへの対応や、取材及び撮影へのサポートの件数は63件【テレビ28、映画10、CM14、雑誌・書籍3、Web・DVD等8】で、そのうち28件は実際にスタッフが伊勢志摩へ取材・撮影に入りました。また11件におよそ延べ400名のエキストラを派遣しました。

【主な支援作品】

○ テレビ番組

- ・ テレビ朝日 ドラマスペシャル「火車」(平成 23 年 11 月 5 日放送)
- ・ TBS 月曜ゴールデン「警視庁南平班～7人の刑事～ 4」(平成 23 年 11 月 7 日放送)
- ・ 関西テレビ放送「冒険チュートリアル」(平成 23 年 9 月 19 日放送)
- ・ 日本テレビ「遠くへ行きたい」(平成 23 年 10 月 2 日放送)
- ・ TBS 月曜ゴールデン「上条麗子の事件推理 10」(放送日未定)

○ CM、その他

- ・ 近畿日本鉄道(株) テレビCM「まわりゃんせ」
- ・ ロッテ「FIT'S」(お菓子:ガム) テレビCM
- ・ ダブな美(化粧品) テレビCM
- ・ 第一興商(カラオケ) テレビCM

○ 映画

- ・ 「*制作発表前作品」

平成 23 年 12 月に(株)ダブよりロケ地紹介の依頼文をいただき、南伊勢町とともに制作会社を訪ね、ロケ地の紹介と町の支援体制の説明を行いました。2 月にはロケハンが開始され、4 月中旬にクランクインし、約 1 ヶ月のロケ(南伊勢町、志摩市、伊勢市、松阪市、多気町)が実施されました。

(2) 各種イベントへの共同・参画

- ・ 三重そうぶんシネマスクエア 2011 平成 23 年 9 月 23 日(金)～25 日(日)
- ・ 鳥羽フィルムフェスティバル 2011 平成 23 年 12 月 4 日(日)

(3) フィルムコミッション事業推進委員会との連携

東海 FC 実務担当者会及び県内フィルムコミッションとの連携を図りました。

(4) FC 事業推進委員会

- ・ 第 1 回 FC 事業推進委員会 平成 23 年 5 月 23 日(月)
- ・ 第 2 回 FC 事業推進委員会 平成 24 年 1 月 27 日(金)

■ふるさと雇用再生特別基金事業

国の「ふるさと雇用再生特別基金実施要領」に基づき、伊勢志摩地域の受入態勢の充実及び事業継続による雇用創出に繋げる目的で、平成 23 年度伊勢志摩地域受入対策業務を実施しました。具体的には、失業者を 2 名雇用し、1 名は伊勢志摩キャンペーンアンケート等の入力・集約・分析及びホームページ等の観光情報の管理を行いました。1 名は伊勢志摩営業推進プロデューサーとして、首都圏の中学校及び旅行会社、関西圏の小学校及び旅行会社を中心とした小中学校及び旅行会社等に対して教育旅行誘致のためのプロモーション活動を実施しました。教育旅行誘致は学校等に対して 112 件、旅行会社等に対して 89 件、延べ 201 件の活動実績がありました。

■伊勢志摩WAONカード発行事業

イオンリテール株式会社と当機構の包括協定を締結し、流通ビジネスによる観光振興事業として、「伊勢志摩WAONカード」を3万枚作成、発行しました。

伊勢志摩WAONカード利用総額の0.1%が当機構に寄付され、広域観光振興事業に活用されます。

■その他

(1) 正会員の入会 (10件)

- ・法人又は団体名：三重交通商事 株式会社 (所在地：津市垂水 574 番地 3)
- ・法人又は団体名：なごみの宿 ホテル和光 (所在地：鳥羽市鳥羽一丁目 13 番 1 号)
- ・法人又は団体名：仕出し弁当や やまぶき (所在地：伊勢市鹿海町 1237 番地)
- ・法人又は団体名：有限会社 扇芳閣 (所在地：鳥羽市鳥羽二丁目 12 番 24 号)
- ・法人又は団体名：海島遊民くらぶ (有限会社オズ) (所在地：鳥羽市鳥羽一丁目 4 番 53 号)
- ・法人又は団体名：有限会社 寿々波 (所在地：鳥羽市答志町 735 番地)
- ・法人又は団体名：答志島旅館組合 (所在地：鳥羽市答志町 735 番地)
- ・法人又は団体名：南伊勢町商工会 (所在地：度会郡南伊勢町五ヶ所浦 988 番地 78)
- ・法人又は団体名：答志島 体験学習の宿 (所在地：鳥羽市答志町 426 番地 2)
- ・法人又は団体名：有限会社 鯨望荘 (所在地：志摩市浜島町浜島 1550 番地 1)

(2) 総会 (計2回)

・第1回通常総会

日 時：平成 23 年 6 月 23 日 (木)

場 所：伊勢市二見生涯学習センター

議 題：平成 22 年度事業報告及び収支決算報告について

平成 23 年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

定款の変更の案について

関連規程の決議について

移行に伴う役員変更について

付帯決議について

役員の選任について

・第2回通常総会

日 時：平成 24 年 3 月 27 日 (火)

場 所：伊勢市二見生涯学習センター

議 題：平成 24 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について

会費規程の変更 (案) について

(3) 理事会 (計2回)

・第1回通常理事会

日 時：平成 23 年 6 月 23 日 (木)

場 所：伊勢市二見生涯学習センター

議 題：平成 22 年度事業報告及び収支決算報告について

平成 23 年度事業計画の変更及び収支予算の補正について

定款の変更の案について

関連規程の決議について

移行に伴う役員変更について

付帯決議について

役員の選任について

正会員の入会について

伊勢志摩学生団体誘致委員会及び伊勢志摩おもてなし向上委員会の委員選任について

・第 2 回通常理事会

日 時：平成 24 年 3 月 27 日（火）

場 所：伊勢市二見生涯学習センター

議 題：平成 24 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

会費規程の変更（案）について

公益社団法人移行に伴う諸規程の変更（案）及び新設（案）について

伊勢志摩観光振興プランの改訂（案）について

専務理事の公募（案）について

（4）伊勢志摩観光企画委員会

・第 1 回伊勢志摩観光企画委員会 平成 23 年 4 月 26 日（火）

・第 2 回伊勢志摩観光企画委員会 平成 23 年 11 月 2 日（水）

・第 3 回伊勢志摩観光企画委員会 平成 24 年 2 月 28 日（火）

■観光地域づくりプラットフォーム支援事業

伊勢志摩地域観光圏において、着地型旅行商品の販売等のワンストップ窓口として観光地域づくりプラットフォームが持続的に機能していくための事業計画を立て、その設立のための準備を行いました。平成23年度は主に2つの事業に取り組み、観光協会、商工会、交通事業者、宿泊事業者、観光事業者等の圏内事業者を対象とした「観光地域づくりプラットフォーム理解促進研修会」を3回と「観光地域づくりプラットフォーム事業実務者育成講座」を4回開催し、観光地域づくりプラットフォーム支援事業運営初期段階に向けての準備を進めました。

○観光地域づくりプラットフォーム理解促進研修会

- ・第1回 開催日：平成23年8月26日（参加者 26名）
テーマ：観光地域づくりプラットフォーム事業・先行事例レポート
伊勢志摩に求められる着地型旅行商品とは
観光地域づくりプラットフォームの最新事情と売れる着地型旅行商品づくり
講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 田中氏
横浜商科大学商学部貿易・観光学科教授 羽田耕治氏
(株)ティー・ゲートニューツーリズム・コンサルティング部長 福井善朗氏
- ・第2回 開催日：平成23年9月29日（参加者 20名）
テーマ：伊勢志摩地域の着地型旅行商品イメージづくり
講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 田中氏
- ・第3回 開催日：平成23年10月18日（参加者 15名）
テーマ：着地型商品素材視察体験

○観光地域づくりプラットフォーム事業実務者育成講座

- ・第1回 開催日：平成23年10月26日～27日（参加者 10名）
内容：先進地視察研修（飯山市 信州いいやま観光局）
- ・第2回 開催日：平成23年11月29日（参加者 15名）
内容：選ばれ続ける地域と観光の仕組みづくり
伊勢志摩観光圏のSWOT分析とテーマ・ターゲット設定
講師：観光カリスマ 山田桂一郎氏・三菱UFJリサーチ&コンサルティング田中氏
- ・第3回 開催日：平成23年12月14日（参加者 20名）
内容：観光圏プラットフォーム事業推進における推進体制と
持続可能な仕組みの在り方
講師：観光カリスマ 山田桂一郎氏
- ・第4回 開催日：平成24年1月16日（参加者 20名）
内容：プラットフォーム事業におけるアクションプランの検討
講師：観光カリスマ 山田桂一郎氏

■伊勢志摩学生団体誘致委員会事業

平成 23 年度は、首都圏（東京都、横浜市、川崎市、大和市）の公立中学校と、関西圏（大阪市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市）の公立小学校、静岡県の公立小学校をターゲットに三重県観光局、関係諸団体の協力を得て誘致活動を展開しました。

1. 企画立案グループ会事業

(1) 誘致資料の作成

- ・伊勢志摩学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においしいさあ」2,500部
- ・伊勢志摩学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においしいさあ 体験メニュー版」3,000部

(2) 伊勢志摩修学旅行体験学習発表会の開催

日 時：平成 23 年 8 月 19 日（金）

場 所：かながわ労働プラザ（神奈川県横浜市）

参加ブース：体験ブース 12、PR ブース 7

来場者数：53 名（学校関係者 28 名、旅行業関係者等 25 名）

内 容：「環境学習」をテーマに組み込んだ新たな修学旅行の形を提案するために、教職員とエージェントの方々が実際に「環境学習」を体験できるブース等を首都圏の会場に設置し伊勢志摩の体験学習を PR しました。また、今年度来訪校の生徒による体験発表を行って頂き、来場者の関心を一層高めました。

(3) 体験学習指導者研修会の開催

日 時：平成 23 年 11 月 10 日（木）

場 所：志摩市内

参加会員：18 名

- 内 容
- ① ウォーターボール&カヤック（次郎六郎海水浴場）
 - ② 自然染め体験（ともやまビジターセンター）※選択制
 - ③ アートワークショップ（アトリエ・エレマン・プレザン アート工房）※選択制
 - ④ 志摩自然学校での運営についてのお話（志摩自然学校）

各市町体験関連施設指導者が自然や環境に対する知識を習得し、現場において学生が、「体験をどういう道筋で学びを得るか」「その場面でどういう支援を求めているか」などプロセスについて再認識をした。

2. 誘致宣伝グループ会事業

(1) 学校等訪問セールスの実施

- ・首都圏中学校

日程 1 平成 23 年 7 月 6 日（水）～8 日（金） 参加会員 28 名（13 班）

日程 2 平成 23 年 8 月 3 日（水）～5 日（金） 参加会員 3 名（1 班）

訪問数 横浜市、川崎市、大和市の公立中学校 207 校

旅行エージェント 1ヶ所

内 容 訪問先で伊勢志摩学生団体旅行ガイドブックを活用し、伊勢志摩修学旅行の

魅力と具体的な旅行行程の紹介を行いました。また、8月19日の伊勢志摩修学旅行体験学習発表会への来場をお願いしました。

・関西圏小学校

日 程 平成24年2月14日（火）～16日（木） 参加会員31名（14班）
平成24年3月1日（木）～2日（金） 参加会員2名（1班）
訪問数 尼崎市、西宮市、神戸市、芦屋市の公立小学校 257校
内 容 訪問先で伊勢志摩学生団体旅行ガイドブックを活用し、伊勢志摩修学旅行の魅力と具体的な旅行行程の紹介を行いました。
また、阪神電車、近鉄電車の相互乗り入れや、新名神高速道路開通に伴う伊勢志摩への移動時間短縮、宿泊施設のPRを行いました。

・その他

委員長、プロデューサー、事務局が首都圏、関西圏、長野県、新潟県、静岡県等の小中学校、旅行エージェント等を随時訪問し、誘致活動を行いました。

(2) 伊勢志摩現地視察招聘事業の実施

・あおぞら号に関わる伊勢志摩修学旅行情報交換会

開催日時 平成24年2月22日（水）
参加者 あおぞら号近畿地区運営協議会、旅行エージェント等 18名
参加会員 14名
内 容 財団法人全国修学旅行研究協会大阪事務局主催の「あおぞら号に関わる伊勢志摩修学旅行情報交換会」を開催して頂きました。情報交換会では来訪側の校長会から受入側である当委員会への要望及び修学旅行における現状報告などの活発な情報交換が行われました。

・旅行エージェント（ワールドツアーシステム）の伊勢志摩現地視察招聘

開催日時 平成23年12月10日（土）、11日（日）
参加者 ワールドツアーシステム社員 9名
参加会員 22名（情報交換会）
内 容 ワールドツアーシステム社員9名を伊勢志摩へ招聘し、当会員との情報交換会及び懇親会を開催しました。また、1泊2日の行程で観光施設及び体験施設4ヶ所、宿泊施設4ヶ所の視察を行いました。

■伊勢志摩キャンペーン事業

平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴い発生した原子力発電所の事故は、日本国全体に大きな影を落としました。更に、伊勢自動車道の津インター以南の通行料金の無料化社会実験とETC1,000円割引が6月に終了したこともあり、利用交通機関の半数以上をマイカーが占める伊勢志摩地域においても大きな影響があったと推測されます。

遷宮が近づくにつれ回復基調であった観光業については、平成23年の伊勢志摩地域の入込客は対前年微減となるなど、厳しい状況の中での伊勢志摩キャンペーンとなりました。

伊勢志摩キャンペーンは、平成25年の第62回式年遷宮に向けた諸行事が始まっている「神宮」、その伊勢志摩最大の魅力でもある「伊勢神宮」をメインテーマに、「参る。泊まる。めぐる。伊勢志摩。」をサブテーマとし、「食」「自然」「文化」などの伊勢志摩の強みを生かしたイベントや参加型プログラムを展開しながら、3地区が一体となって伊勢志摩への誘客促進を図りました。

この結果、全国の主な観光地で入込客が減少している状況で、伊勢志摩は減少幅を小幅に抑えることに伊勢志摩キャンペーンの取り組みが一定の効果を果たしたものと推測されます。

また、旅行会社の送客について、関東圏からは対前年度比プラスである一方、中部・関西地域については幾分減少しているとの推計がされています。

このような傾向を踏まえ、平成24年度の伊勢志摩キャンペーンは、さらに魅力的な事業を実施し、伊勢志摩地域全体の誘客と周遊性を高めることが重要と考えます。

【事業名】

伊勢志摩キャンペーン「美し国、まいろう。伊勢・鳥羽・志摩」

【期 間】

平成23年10月1日（土）～平成24年3月31日（土）

【主 催】

伊勢志摩キャンペーン実行委員会

構成団体：伊勢市、鳥羽市、志摩市、三重県、社団法人三重県観光連盟、伊勢商工会議所、鳥羽商工会議所、志摩市商工会、社団法人伊勢市観光協会、鳥羽市観光協会、志摩市観光協会、近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社、社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構

【主な取組】

1 情報発信に関する事業

キャンペーンを通じ、マスコミや旅行会社をはじめとする様々なメディアを活用し、伊勢志摩地域の魅力を広く一般の方々に情報発信しました。

(1) ガイドブックの作成（A4、20ページ 240,000部）

- ・サブテーマである「参る」「泊まる」「めぐる」で分類し、情報を掲載しました。
- ・「参る」では、メインテーマである「神宮」の情報や、その関連行事を紹介
- ・「泊まる」では、鳥羽や志摩の温泉や宿泊情報、また泊まってこそそのイベントを紹介

- ・「めぐる」では、「参宮の木札」をはじめ、キャンペーン期間中における伊勢、鳥羽、志摩の各地区のイベントや観光スポットを紹介

※ビッグプレゼント応募はがきは別途作成し、現地にて配布

(2) ポスターの作成 (B1 : 2,400枚、B2 : 1,800枚、B3 : 28,300枚 計32,500枚)

- ・「おはよう、伊勢志摩。」のコピーとともに、早朝の宇治橋の写真を用い、早朝の清々しさをイメージさせるデザインとしました。また、ガイドブックの表紙ビジュアルと連動させ、近鉄沿線各駅、近鉄車内吊り、地元観光施設を中心に掲出を行い、発地や着地の観光客に対する認知度向上を図りました。

(3) 広告媒体展開

- ・関西圏及び中京圏を中心に、新聞やタウン誌、雑誌などの媒体を活用した告知を行い、波及効果としてのパブリシティ拡大を図ることを目的に、イベント情報等のタイムリーな発信を6か月間にわたり展開しました。

※延べ掲載部数 3,192,776部 (昨年 4,022,364部)

(通常掲載費用約1,500万円のところ、約800万円で展開)

(4) プレスキャラバンの実施

- ・京阪神のプレスを訪し、伊勢志摩キャンペーンの告知を行うことにより、新聞、雑誌及びテレビにて情報発信を行いました。
- ・実施日 平成23年9月29日 (木)
- ・訪問先 新聞社 11社、雑誌社 1社、テレビ局 1社

(5) プレスツアーの実施

- ・プレスの方を伊勢志摩へ招いて伊勢志摩キャンペーンの魅力を体感していただき、各媒体で読者へ紹介していただくことで伊勢志摩キャンペーンの広報を図ることを目的に、プレスツアーを実施しました。

- ・第1回目 平成23年10月14日 (金) ~15日 (土) 志摩・伊勢コース
参加者 7社 8名

- ・第2回目 平成23年10月21日 (金) ~22日 (土) 鳥羽・伊勢コース
参加者 13社 16名

(6) ホームページの作成・携帯電話への情報発信の実施

- ・「伊勢志摩ブログ」やツイッターによるタイムリーな情報を発信
- ・情報発信チャンネルを増やすため、携帯サイトを継続して作成
- ・美し国伊勢志摩食彩フェアの紹介ページ作成
- ・エリア別観光モデルコースの掲載
- ・「WEB限定 春旅プレゼントクイズ」の実施
- ・アクセス件数56,171件 (H22 : 46,153件)

(7) イベントの実施

- ・中部国際空港セントレアでのイベントの展開（平成23年9月29日（木）～10月5日（水））
前年度に引き続き、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構主催の誘客イベントとタイアップし、中部国際空港を利用する観光客に対し誘客キャンペーンを実施しました。

(8) PR活動

- ・関西圏の雑誌や新聞、テレビ等のメディアに対し、事業及び伊勢志摩をパブリシティで取り上げていただくことを目的に、関西メディアキャラバンを実施。
- ・三重県観光連盟が主催するメディア交流会（東京、大阪）において、事業及び伊勢志摩のPRを実施。
- ・神戸市三宮の地下街「さんちか」において、三重県等と共催により、伊勢志摩キャンペーンのPRを実施。
- ・JR静岡駅及び近鉄大阪上本町駅において、鳥羽観光施設連合会との共催により、伊勢志摩キャンペーンのPRを実施。
- ・東京交通会館、JR長野駅・JR松本駅及びJR横浜駅において、伊勢市との共催により、伊勢志摩キャンペーンのPRを実施。
- ・年末海族市において、年末海族市実行委員会との共催により、伊勢志摩キャンペーンのPRを実施。

(9) 総額1,000万円ビッグプレゼント（平成24年4月2日締切り）

- ・賞品総額1,000万円（主な賞品：「伊勢志摩でしか体験できないスペシャルな旅プラン」、ペア宿泊券、施設利用券、食事券、特産品）
- ・応募総数 14,457通（前年：17,300通、前年比：-16.4%）

(10) アンケート調査

- ・ビッグプレゼントの応募ハガキ裏面で、平成24年度に向けた伊勢志摩キャンペーンアンケート調査を実施しました。
- ・回答総数約 16,000件のうち、任意の2,000件を抽出入力し、分析しました。
- ・主なアンケート結果としては以下のとおり。
（小数点以下四捨五入のため合計値が一部合致しない）

① 《伊勢志摩を訪問したきっかけ》

ほぼ前年同様の結果となっており、「前回の経験」が約25%と訪問の最大のきっかけとなっています。訪問回数からみても、伊勢志摩の来訪者への印象は良いと思われるので、来訪のきっかけとなる情報の発信を強化していくことが必要となります。しかし、「前回の経験」以外のきっかけの割合は、各媒体ではほぼ前回の調査と変わっておらず、情報発信が強化されていないことが伺えます。

② 《キャンペーンの認知度》

「旅行前」が約44%、「旅行先」が約56%と、ほぼ前年と同じ結果となりました。再訪者が約9割を占める状況の中、事前認知が半数以下ということは、キャンペーンの実施時期と来訪者の訪問時期が重ならないことも要因として考えられます。その為、実施時期以外にも来訪者に対してキャンペーン

をPRしていくことで、事前認知者の増加に繋げていけるのではないかと考えられます。

③ 《キャンペーンを知った媒体》

旅行先での認知者が半数以上を占めることもあり、前年同様「ポスター」が約27%と最大のきっかけとなりました。都道府県別にみると、同じ近県であっても来訪者数に大きな差がでているので、キャンペーンのPRに偏りが出てしまっていることが伺えます。近鉄沿線以外の地域にも、高速道路の新規開通など、交通アクセスの向上をもっとPRすることで、キャンペーン認知の向上に繋げていけるのではないかと思います。広報媒体や手段についても工夫して、もっと幅広くPRを行っていく必要があると考えられます。

④ 《ビッグプレゼントの認知度》

「旅行前」が約26%と、ほぼ前年と同じ結果となりました。キャンペーン自体の事前認知率を更に半程下回るという結果から、ビッグプレゼントのPR不足等が伺えます。フリーアンサーにも『内容・応募方法・当選賞品が分かりにくい』との意見が多く寄せられたので、PR方法・実施方法の改善を検討する必要があります。

⑤ 《第62回神宮式年遷宮の認知度》

「知っている」が約59%と前年より微増しました。しかし、遷宮を翌年に控えるなかで「知らない」が約17%を占めるのは少なくない数字と感じます。”せんぐう館”の開館や遷宮行事の進行など、遷宮への盛り上がりをもっとPRして「知っている」を増やすことで伊勢志摩全体のPRに繋げていかなければならないと考えられます。

2 誘客に関する事業

神宮の式年遷宮を平成25年に控え、神宮への関心が高まっていることを契機ととらえ、伊勢志摩への来訪者を「日帰り」から「宿泊」へ、また日帰り客についてもエリア内を周遊していただくことにより、消費額の高まる取り組みを検討していく必要があると考えます。

(1) 旅行会社対策

関西圏、中部圏、関東圏、遠隔地における旅行パンフレットへのキャンペーンの告知、個別イベントの掲載及び旅行会社店頭における旅行商品販促活動等を行い、伊勢志摩エリアへの誘客の促進を図りました。(※三重県等が実施した事業への連携実績も含む)

- ・旅行会社パンフレット掲載部数：約 1,800万部（平成22年度：約2,100万部）

※東日本大震災の影響を受け、発行部数が減となっている模様。

- ・大手旅行会社下半期送客実績（※聞き取り調査結果 複数社平均）

①関西圏：対前年93%以上

②中部圏：対前年88%以上

③関東圏：対前年107%以上

※関西と中部の送客が減、特に中部は3年連続で減となっている。

- ・店頭キャンペーンの実施：約 945店（三重県委託事業実績含む）

①関西圏：約 205店舗（H22：190店舗）

- ②中部圏：約 250店舗 (H22：220店舗)
 - ③関東圏：約 470店舗 (H22：580店舗)
 - ④遠隔地：約 20店舗 (H22：20店舗)
- 945店舗 (H22：1,010店舗)

(2) 直販体制の整備

旅行会社と契約をしていない中小旅館や民宿を含む宿泊施設を対象に、「食彩フェア」を実施することにより、限定料理プラン商品を造成し、旅行雑誌「じゃらん」及びインターネット「じゃらんnet」を活用した直販体制の整備を行いました。

- ・食彩フェア参加施設数：27軒 (H22：30軒)
- ・雑誌出稿販売軒数：27軒【関西・中国・四国じゃらん 9月1日発売号】
- ・インターネット上での販売宿泊施設数：27軒 (H22：30軒)
- ・じゃらんnetメールマガジンテキスト広告
 - 東海版 … 9月8日、10月6日、11月2日 380,000通/回
 - 関西版 … 9月15日、10月20日、11月17日 620,000通/回
- ・じゃらんnetフリーページ 無料宿泊券プレゼント
 - 【参加施設19軒 応募期間10月11日～2月15日 応募総数：3,075件】
- ・販売件数：196件 (H22：225件)
- ・人泊数：504人 (H22：679人)
- ・販売高：約935万円 (H22：約1,268万円)
- ・平均客単価：約18,500円 (H22：約16,800円)

販売件数、人泊数及び販売高については、それぞれ対前年比で減少となりましたが、平均客単価は1,700円ほどの増加となりました。また、じゃらんにおける伊勢志摩エリアの平均客単価は約12,100円であり、低単価プランの支持が広がるなか、6,400円程単価が高くなっていることから、限定料理プランは単価の上昇につながっています。

(3) 限定イベント

限定イベントについては、下記のイベントを実施し、誘客につながるよう取り組みました。

■参宮施行札

昨年度に引き続き、伊勢神宮参拝者への「参宮の木札」を活用した「おもてなし」を行ないました。これは、江戸時代に伊勢の人々が全国から訪れる参宮客に対し、「ひしゃく」を目印に優しくお迎えしてきたことを踏まえ、「ひしゃく」を「参宮の木札」に代え、伊勢・鳥羽・志摩のおすすめスポットでおもてなしを受けられることとしました。

また、外宮前観光案内所にて参宮の木札を配付することで、古くからの伊勢参りのならわしである外宮、内宮の順で参拝を周知すること、また、内宮周辺に集中する観光客を分散させることも目的の一つとして実施しました。

- ・配付期間：卯 平成23年10月3日（月）～12月16日（金）
辰 平成24年1月16日（月）～3月30日（金）

上記期間のうち平日のみ、各日先着100名、計10,000個配付

■早朝参拝バス

参拝する人がまだ少なく、静寂で清々しい雰囲気の中、ゆっくりとお参りしていただくことを目的に、鳥羽バスセンターを6時20分に出発し、二見浦を經由して外宮と内宮を参拝するコースと、賢島駅を6時30分に出発し、鵜方駅と志摩磯部駅を經由して伊雑宮を参拝する2つのコースを設定し、実施日を限定して早朝参拝バスを運行しました。また、両コースとも観光案内人を配置することにより、特別感を高めました。

①鳥羽発便

- ・運行日数：44日、乗車人員：75人

※観光案内人は外宮のみとし、内宮ではオプションとして単価500円にて観光案内人が同行することをご案内しました。その結果、乗車人員75名のうち、53名の方が観光案内人を利用されました。

②賢島発便

- ・運行日数：26日、乗車人員：21人

■「御食つ国・志摩」食の道再現 旬の海幸神宮奉納

志摩産の「あおりふぐ」「伊勢えび」「的矢かき」を食の神を祀る外宮に奉納し、豊漁や地域の産業の繁栄を祈願するため、「御食つ国・志摩」奉納団が伊勢市神社港から木造船「みずき」で勢田川を上り、かつての伊勢の台所・河崎へ上陸したのち、外宮へ奉納いたしました。

- ・日時：平成23年10月15日（土）
- ・場所：伊勢・神社港～河崎～外宮

■美し国伊勢志摩 食彩フェア 「お弁当選手権」

食彩フェアの一環として、今回で3回目となるお弁当選手権を実施する予定でしたが、開催予定当日は台風の接近により、一同に会してのイベントは残念ながら中止となりました。その後、書類での審査を行い、各市長賞、ぎゅーとら、サークルKサンクス、マックスバリュ中部等の協賛各社賞、映画等の撮影の際のロケ弁を想定した伊勢志摩フィルムコミッション賞等を決定いたしました。

また、優秀作品については、「ぎゅーとら」の全27店舗において平成24年1月21日（土）と22日（日）の2日間、コンビニエンスストア「サークルKサンクス」の三重県と和歌山県の一部の約230店において平成24年1月12日（木）から25日（水）までの14日間、それぞれ販売されました。

- ・日時：平成23年9月21日（水）【台風接近により中止】
- ・場所：鳥羽シーサイドホテル コンベンションホール
- ・応募校数及び応募数：高等学校 8校 60作品
専門学校 1校 19作品

■伊勢ヨイ夜ナバスの実施

「伊勢ヨイ夜ナ」の開催に合わせ、鳥羽での宿泊者を対象に「伊勢ヨイ夜ナ」へのツアーを実施し、広域的な観光についての取り組みを行ないました。

参加者からは好評を得ることができ、今後も同様の取り組みを行い、誘客方法の一つとして活用していきたいと考えます。

- ・日時：平成23年10月28日（金）～29日（土）
- ・参加者：延べ54名
- ・企画募集旅行会社：JTB

■美し国ポイントラリー

昨年度に引き続き、誰もが参加しやすいイベントとして、美し国ポイントラリーを実施しました。実施方法についても、昨年同様、伊勢・鳥羽・志摩のエリアを周遊する仕組みとするため、異なるエリアのポイントを押印することとして実施し、抽選で10名の方に「伊勢志摩の海の幸詰め合わせ」をプレゼントしました。

伊勢・鳥羽・志摩を周遊し楽しんでいただけるイベントではありますが、応募数は昨年を若干下回る結果となりました。

- ・応募数 2,199件（うち無効：82件、前年：2,636件、うち無効：47件）

(4) コンビニエンスストアとのタイアップ展開

消費者に身近な存在であり、かつ旅行者が気軽に立ち寄るコンビニと連携した活動を行い、誘客・広報について取り組みました。

・サークルKサンクスとの連携

三重県内の233店舗において、平成24年1月12日～25日の間、店舗内でのポスター掲示による告知を行い、伊勢志摩キャンペーンのPR及び、伊勢志摩地域への誘客につなげる取り組みを行いました。

(5) キリンタイアップ事業

民間企業との連携による広域への情報発信と誘客につなげることを目的に、飲料メーカーのキリンビール株式会社三重支社とタイアップ事業を行ないました。事業の内容としましては、同社提供のFMラジオ番組において旬の情報の発信と、伊勢・鳥羽・志摩の各地区における117のスポット施設を対象に、利用者がスポット施設であることを判別しやすいよう、店頭に掲出可能な大型の「参宮施行札」を製作していただき、配付を行いました。

3 地域の魅力を高めるための事業

地域が主体となった事業に様々な支援を行い、観光客の満足度向上につなげる為の地域の魅力向上に取り組みました。

- ・伊勢地区・・・御幣鯛、夫婦・二見の日、夫婦岩と月の出、さくら通りはしご酒スタンプラリー、第12回 河崎商人市、うましくに伊勢シェフクラブ「饗宴」2011、伊勢ヨイ夜ナ、河崎蔵くら寄席、「辰の市」と「みなとまち寄席」、第8回おひなさまめぐりin二見、スイーツウォーク～洋の旋律、和の饗宴～ 等
- ・鳥羽地区・・・鳥羽に泊まって伊勢えび三昧、ほろ酔いプラン、うれしい♪ 鳥羽のおもてなし宿

泊プラン、鳥羽スタンプラリー、TOBA FILM FESTIVAL 2011 ショートフィルムコンテスト グランプリ授賞式、浦村ガキを味わう！ カキむき体験と簡単カキ料理、カモメの散歩道ライトアップ、鳥羽でウォーキング！ 等

- ・ 志摩地区・・・伊勢志摩温泉 真珠の湯めぐりキャンペーン、お得な志摩宿泊プラン、里海・里山ウォーク、～忙しい日常からリセット～ リフレッシュウォーキング♪、ビン玉ロード ～恋人たちの契りスポット～、「御食つ国・志摩」年末海族市、近鉄電車「志摩ってこ～ね列車」運行!! 等